

## 本 会 記 事

### ◎第2回通常総会開催

昭和36年5月26日(金)午後1時より、日本電機工業会講堂(東京都千代田区永田町)において、第2回通常総会を開催し、つぎの事項について審議が行われ、異議なく了承された。

総会成立の可否 出席者 104名

委任状 243名 合計 347名成立。

#### 1. 昭和35年度事業報告、決算報告

事業内容については、会誌 Vol. 1, No. 1, No. 3, Vol. 2, No. 1 の本会記事および会告をご参照下さい。

#### 決算報告

#### a. 昭和35年4月～昭和36年3月資金収支決算書〔円〕

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会誌出版費	84,460	会費収入	813,000
研究会費	7,000	賛助会費	1,660,000
人件費	120,886	入会金	81,000
会議費	172,305	雑収入	17,640
印刷費	669,685	利息収入	17,139
通信費	50,567		
交通費	14,773		
事務消耗品費	12,666		
手数料	12,970		
事務所経費	45,120		
雑	90,826		
海外出張費	37,440		
什器備品	42,322		
IFIPS負担金	90,080		
有価証券	150,000		
電話加入権	10,300		
翌月繰越金	977,379		
<b>合 計</b>	<b>2,588,779</b>	<b>合 計</b>	<b>2,588,779</b>

翌月繰越金		*銀行預金内訳	
現金	1,677	住友銀行	184,896
振替貯金	167,743	第一銀行	137,000
銀行預金	807,959*	三井銀行	486,063
	977,379		807,959
未払会誌	Vol. 1. No 4	189,487	
	Vol. 2. No 1	206,832	
	" No 2	190,000	
	原稿料(2)	60,000	
	事務所雑費	30,000	
		676,319	
実翌月繰越		301,060	

#### b. 昭和35年度予算決算対照表および

昭和36年度予算

〔円〕

項 目	昭 和 35 年 度		昭 和 36 年 度 予 算
	予 算	実 算	
収入の部			
入会金収入	100,000	81,000	30,000
正会員費収入	1,000,000	813,000	1,000,000
賛助員会費収入	2,400,000	1,660,000	2,400,000
雑収入		17,640	75,000
利息収入		17,139	
繰越金			51,060
計	3,500,000	2,588,779	3,556,060
支出の部			
事務費	500,000	324,969	500,000
会議費	120,000	101,155	120,000
通信費	70,000	50,867	70,000
集会費	80,000	12,970	80,000
月例講演会 研究委員会費	600,000	19,370	500,000
会誌出版費	1,600,000	1,351,416	1,800,000
IFIPS分担金	90,000	90,080	180,000
海外派遣費	250,000	37,440	250,000
創立費(予備費)	190,000	149,752	56,060
計	3,500,000	2,137,719	3,556,060
繰越金		451,060	

#### c. 学会基本資産および財産目録

昭和35年度繰越金 451,060 円の内訳は下記のとおりであるが、昭和36年3月理事会でこれを下記の如く処分することとした。

昭和35年度繰越金	総額	451,060 円
内 訳	電電公社債券	150,000 円
	海外出張積立金	250,000 円
	昭和36年度の繰越現金	51,060 円

電電公社債券 150,000 は基本財産、海外出張積立金 250,000 円は別途積立金として整理する。

昭和35年度末(昭和36年3月31日)現在における財産目録

1. 基本財産 150,000 円 (有価証券)
2. 海外出張積立金 250,000 円 (別途銀行預金)
3. 現金(昭和36年度の繰越) 51,060 円
4. 家具什器 39,110 円 学会印, スチール書庫, スチールロッカー, 机, 椅子, 卓上ベル各1個, 創立費支出, 取得価格
5. 棚卸資産 15,000 円 学会誌6冊×500部 10%は売物になるとして計上

## 2. 36年度事業計画および収支予算

前記35年度の実績を参考とし、前項表右列の如く承認された。

## 3. 役員選定

4月に行なわれた会員の投票結果を報告し、評議員が70名決定された。その氏名は、会誌 Vol 2, No. 2の参照のこと。

なお総会に先立って、5月12日の評議員会（仮）で内定した会長、副会長、常務理事、理事の諸役員も次の如く決定された。

会 長 山 下 英 男 (再選)  
副 会 長 山 内 恭 彦 (再選)  
常 務 理 事 高 橋 秀 俊 (再選)

常務理事	和 田 弘 (再選)
"	清 宮 博 (再選)
"	原 科 茂 (新任)
理 事	宇 野 利 雄 (再選)
"	茅 野 健 (再選)
"	喜 安 善 市 (再選)
"	河 野 忠 義 (新任)
"	後 藤 以 紀 (再選)
"	高 崎 勲 (再選)
"	森 口 繁 一 (再選)
"	南 沢 宣 郎 (再選)

引続いて、監事には前監事の斎藤有氏が選定された。

## 会誌への寄稿規定

- (1) 寄稿者は原則として本会会員に限る。
- (2) 本会所定の原稿用紙（申込み次第送付する）に執筆のこと。（雑誌1ページは本会原稿用紙で7枚）
- (3) 寄稿の種類
  1. 論文（長さは刷上り6ページ以内、題目、著者名、所属の英訳を付ける）  
学術および技術に寄与する新しい研究成果
  2. 紙上討論（長さは刷上り1ページ以内）  
本会誌に掲載された事項に関する討論およびそれに対する原著者の回答。
  3. 寄 書（長さは刷上り1ページ以内）  
論文とするほど纏まったものではないが、学術および技術に寄与する新しい研究成果あるいは考察など。
  4. 会員の声（長さは刷上り2ページ以内）  
学術または技術について会員一般の関心を
- 促すための意見、本会の事業および動向に対する批判や意見など。
5. 文献紹介（長さは刷上り0.5ページ以内）  
紹介したい原著の題目を学会に照会の上、寄稿せられたい。掲載の節は謝礼を呈する。
6. ニュース（長さは刷上り0.5ページ以内）  
ニュース源の紹介、ニュース記事のいずれでもよい。掲載の節は謝礼を呈する。
- (4) 寄稿の採否  
採否は常務理事を含む幹事会で決定する。また要旨だけ掲載する場合もある。前項1および3に該当するもので、本会受付前に、他の公開出版物にほぼ同じくらい詳しく掲載されたものは、原則として掲載しない。
- (5) 原稿の送付先 東京都港区芝西久保巴町35  
電子工業振興協会内 情報処理学会
- (6) 論文別刷 50部著者に贈呈。それ以上は有料。